

徳川家康公 作文コンクール

第十九回徳川記念財団コンクール in 岡崎



東照大権現像 四代木村了琢筆 天海賛
徳川記念財団所蔵



公益財団法人 徳川記念財団理事長
徳川 家広

課題：「家康公と天下を取らせた三河の風土」
題名・内容は自由

応募期間：2022年9月1日(木)～9月30日(金)

表彰式(予定)：2022年11月27日(日) 会場未定

主催／公益財団法人 徳川記念財団

後援／岡崎市、岡崎市教育委員会、岡崎商工会議所、中日新聞社、大樹寺、伊賀八幡宮

協力／タニザワフーズ(株)、一般社団法人 徳川家康公に学ぶ会、岡崎信用金庫



こちらのQRコードから
徳川記念財団表彰活動を
ご覧いただけます



徳川記念財団
公式YouTube

徳川家康公の生誕の地である岡崎で、家康公作文コンクールが本年も実施されることについて、たいへんにより難く感じております。

新型コロナウイルスへの感染が世界中へ広がってから、今年で3年目となりました。その影響で、みなさんの学校生活も、学外での時間の過ごし方も、大きく変化したであろうと思います。そして今年にはさらに、工業国同士の戦争という、人類が久しく経験していない事態も発生しました。私たちが慣れ親しんだ平穏な生活が、じっさいには極めて尊い、貴重なものであると、あらためて実感させられる日々だと言えるでしょう。

今を去ること480年前に生まれた徳川家康公は、必死の思いで戦乱の世を生き抜き、長い生涯の最後には乱世に終止符を打つことに成功しました。実に、平和が当たり前となった現在の日本の起点は、家康公にこそあると言っても、過言ではないでしょう。そのような家康公の一生をふりかえり、学び、考えることは、今のような先行きの不透明な激変期においてこそ、価値のあることだと思えます。

岡崎は、家康公の生誕の地であり、家康公を支え、ともに戦って平和への道を切り開いた三河武士団の根拠地でもあります。そのような岡崎に住むみなさんにとって、この作文コンクールが、郷土の歴史、伝統そして文化を改めて意識すること、そしてそのような郷土・岡崎への愛にあふれた大人へと成長して行かれることの助となれば幸いです。



公益財団法人
徳川記念財団理事長
徳川 家広

三人の「征夷大将軍」と

かかわりの深い三河の風土

岡崎市北東部の山中にある瀧山寺。

ここに大変美しい一体の仏像があります。「聖観音立像」。国の重要文化財にも指定されているこの仏像は、鎌倉幕府を開いた源頼朝と同じ身長であり、大変深い関係があります。

その胎内には驚くようなものが納められているとお寺の記録に載っています。頼朝の母方の祖父は熱田神宮の大宮司(一番備前宮司)であり、額田を領地としていました。額田の中心寺院でもあった瀧山寺には頼朝の叔父や、従弟が僧としていたのですが、彼らが頼朝を助けたり、また大変仲良くしたのです。頼朝は鎌倉幕府を開くと、この三河を幕府の直接の領地と定めました。頼朝の死後には瀧山寺の中に頼朝の菩提を弔うお堂を建てて聖観音像を祀ったのです。



伝源頼朝像

また、源頼朝の先祖は源氏の棟梁として名高い源義家です。その義家から出た一族に足利氏がいます。鎌倉時代の半ばころに足利氏の三代目当主・足利義満がこの三河国の守護を任されました。その際、義氏は一族の多くを矢作川の流域に呼び寄せました。この足利一族が治めた地名を名字にしたことで、細川氏、仁木氏、長瀬氏、戸賀崎(戸崎)氏、上地氏(以上岡崎市内)、今川氏、吉良氏、一色氏などが生まれたのです。さらに彼らの家臣たちもこの地域に多く居住しました。後に足利尊氏が征夷大将軍となって室町幕府を開くと、一族の武士たちは重要な役について幕府を支えました。尊氏はこの三河の地に立派な寺院の建立を願い、三代將軍義満の時に実現しました。それが天恩寺です。

家康公や三河武士たちも、源氏や足利氏が根付いたこの三河の地に育ち、やがて天下を平定するまでになったのです。武士の棟梁としての「征夷大将軍」は頼朝、尊氏、そして家康公と、全て矢作川を中心とする西三河、さらには三河の歴史的な風土から生まれたかといっていいでしょう。このような見方から、家康公や三河武士について調べ、作文に表してみることがとても大切な勉強だと思えます。

(YouTubeなるほど!歴史ミステリーも参考にしてください。)



こちらのQRコードから「徳川家康公作文コンクールin岡崎」の参考動画をご覧いただけます。

第19回「徳川記念財団コンクール in 岡崎」徳川家康公作文コンクール募集要項

課題 「家康公と天下を取らせた三河の風土」 題名・内容は自由

自分の住むまちと家康公や三河武士たちについて、本を読んだり、調べたり、近所の史跡に行き観たり、聞いたりして、感じたこと・思ったことを書いて下さい。

- 【参考例】 ①家康公と三河武士と岡崎について ②「三河武士のやかた家康館」に行ってみて
③家康公と三河の風土について ④いまに残る伝統行事、祭礼、産業、食などについて

対象 岡崎市内の小・中学校に在学中の児童・生徒

- 応募規定**
- 応募作品は自作の未発表のものに限り、1人1編とします。 ●作品の著作権は、主催者に帰属します。
 - 作品の返却はしませんので、必要な場合は事前にコピーをして下さい。 ●日本語により表記されたものに限りです。
 - 作品の枚数は表紙を除き400字詰め縦書き原稿用紙で、小学校1・2年生は1枚程度、小学校3年生は2枚程度、小学校4～6年生と中学生は4枚程度とします。(図表も必要な場合は含む) 右上端をホチキスで留めて下さい。
 - 鉛筆(HBまたはB)で濃く書いてください。応募する児童・生徒の直筆に限りです。ワープロ・パソコンの作品は認めません。
 - 作品には表紙を付け、「題名」、応募者の「学校名、学年、名前(ふりがな)」をご記入してください。

応募期間 2022年9月1日(木)～9月30日(金) 当日消印有効

送付先 応募方法 応募は学校ごとに取りまとめて応募リストに必要事項をご記入のうえ、作品と同封し送付して下さい。
送付先 〒444-0912 岡崎市井田西町1番地2 タニザワフーズ(株) 徳川記念財団コンクール in 岡崎 係

審査要項

最優秀作品	徳川賞 1編	岡崎市長賞 1編	岡崎市教育委員会教育長賞 1編
優秀作品	家康賞 3編	岡崎商工会議所会頭賞 1編	中日新聞社賞 1編
		伊賀八幡宮宮司賞 1編	龍城神社宮司賞 1編
		歴史審査員特別奨励賞 1編	
			大樹寺貴主賞 1編
			合計12編程度

審査員は学識経験者3名程度です。受賞者に賞状ならびに副賞、応募者全員に参加賞があります。入賞発表は11月初旬に行い、事務局より所属の小・中学校を通じて入賞者へ通知します。表彰式日時・会場は未定です。

表彰式(予定) 2022年11月27日(日) 会場未定

その他 入賞者名及び優秀作品の一部は、公益財団法人 徳川記念財団のホームページに掲載します。また、入賞者は、報道発表において、氏名・学校名・作品・顔写真を掲載される事がありますので、あらかじめご了承ください。